

授業科目	* 助産診断・ケア学Ⅲ(産褥期)				単位	1		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI21203J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、新郷 朋香							
授業概要	正常経過にある褥婦の身体・心理・社会的な経過について学修する。さらに、事例を用いて自己練習やグループワークに主体的に取り、母子一体の視点をふまえた褥婦の心身の回復や母親役割獲得に向けた助産ケアを習得する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 褥婦の身体・心理・社会的な正常経過について説明できる。 2. 褥婦の身体回復や心理・社会的な適応に必要なケアについて根拠に基づき説明できる。 3. 褥婦のケアに関する課題について主体的に取り組むことができる。 4. 褥婦のケアを倫理的態度をふまえ安全安楽に実施できる。 5. 褥婦の健康状態を把握するための診察技術を正しく習得できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	0	15	25	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30				20		50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5			5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)					5		5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10			10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルに達したうえで、褥婦や家族に関する課題や、対象のケアのために必要な自己の知識や技術の向上を目指して主体的に自律して学習に取り組むことができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常経過にある褥婦の身体回復や心理・社会的な適応に必要なケアについて根拠に基づき説明できる。 2. ディスカッションやアドバイスを活用し、褥婦や家族へのケアにおける自己の課題について、取り組むことができる。 3. 褥婦の健康状態を把握するための基本的な診察や成長促進に向けた基本的なケアを安全安楽に実施できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会 敵診断とケア(1)(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的・心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。</p> <p>(1)身体的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性変化について 	講義・ ディスカッション	<p>予習:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題1事前学習 ・課題2 課題1の関連する内容についてテキストを確認しポイントに下線を引くなどして講義にのぞむ。 ・課題3 事例課題を実施する。 <p>(別途提示)</p>	60
2	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒 新郷朋香)</p> <p>1.産褥経過における身心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>2)進行性変化に関する技術演習を行う。</p> <p>(1)身体的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退行性変化を促進させるためのケアの実施 ・褥婦のセルフケア能力を高めるためのケアの実施 	演習・ ディスカッション	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	60
3	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における心理的特徴、逸脱予防のための支援について学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。</p> <p>(1)心理的社会的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親への適応過程 	講義・ ディスカッション	<p>予習:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題1事前学習 ・課題2 課題1の関連する内容についてテキストを確認しポイントに下線を引くなどして講義にのぞむ。 ・課題3 事例課題を実施する。 <p>(別途提示)</p>	60
4	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒 新郷朋香)</p> <p>1.産褥経過における心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>2)心理的社会的自律に向けた演習を行う。</p> <p>(2)心理的社会的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親役割獲得に必要なケアの実施 	演習・ ディスカッション	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	30
5	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。</p> <p>(1)身体的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行性変化 ・母乳育児に関する知識 	講義 ディスカッション	<p>予習:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題1事前学習 ・課題2 課題1の関連する内容についてテキストを確認しポイントに下線を引くなどして講義にのぞむ。 ・課題3 事例課題を実施する。 <p>(別途提示)</p>	60
6	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的・心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>1)ワークシートや課題を活用し解説する。</p> <p>(2)身体的特徴とケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身の回復 ・全身の回復を促すためのケア <p>2)退院にむけた支援について解説する。</p> <p>(1)身体回復にむけたセルフケア</p> <p>(2)家族計画(避妊法) 等</p>	講義・ ディスカッション	<p>予習:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題1事前学習 ・課題2 課題1の関連する内容についてテキストを確認しポイントに下線を引くなどして講義にのぞむ。 ・課題3 事例課題を実施する。 <p>(別途提示)</p>	30

7	<p>テーマ:産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(古賀玉緒)</p> <p>1.産褥経過における身体的・心理的特徴、正常な経過に向けたケアについて学ぶ。</p> <p>3)退院後のケアについて解説する。</p> <p>・メンタルヘルス</p>	講義 ディスカッション	予習: ・課題を実施する。 (別途提示)	60
8	<p>テーマ:特殊な状況にある褥婦の支援(山田恵)</p> <p>1.事例をもとに支援について解説する。</p> <p>・グリーンケア</p>	講義・ ディスカッション	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。	60
9	<p>テーマ:保健指導の実際(1) (古賀玉緒 新郷朋香)</p> <p>1.産褥期の助産技術を学ぶ。</p> <p>・グループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む</p>	講義 演習	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。	30
10	<p>テーマ:保健指導の実際(1)</p> <p>1.産褥期の助産技術を学ぶ。 (古賀玉緒 新郷朋香)</p> <p>・グループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む。</p>	演習	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	30
11	<p>テーマ:保健指導の実際(2) (古賀玉緒 新郷朋香)</p> <p>1.産褥期の助産技術を学ぶ。</p> <p>・グループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む。</p>	演習	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	30
12	<p>テーマ:保健指導の実際(3) (古賀玉緒 山田恵 新郷朋香)</p> <p>1.課題事例の支援を実施する(技術チェック)</p> <p>2.自己の技術を振り返り課題を見出す。</p>	演習	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	30
13	<p>テーマ:保健指導の実際(4) (古賀玉緒 山田恵 新郷朋香)</p> <p>1.課題事例の支援を実施する(技術チェック)</p> <p>2.自己の技術を振り返り課題を見出す。</p>	演習	予習:事例に必要な支援方法の確認を行う。	30
14	<p>テーマ:褥婦の支援(外部講師 岡本 亜由美)</p> <p>アロマセラピーを活用した周産期のケアを学ぶ。</p> <p>・アロマセラピーを実践する(上下肢)</p>	講義 演習	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。 復習:該当部分の復習を行う。	30
15	<p>テーマ:褥婦の支援(外部講師 岡本 亜由美)</p> <p>アロマセラピーを活用した周産期のケアを学ぶ。</p> <p>・アロマセラピーを実践する(背部)</p>	演習	予習:教科書や参考図書を読み、重要箇所を斜線や付箋を示し講義にのぞむ。 復習:該当部分の復習を行う。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既習した褥婦の生理や看護ケアを復習し、看護技術(沐浴・ラッチオン・ポジショニング・新生児の抱き方、寝かせ方・衣類の着脱・、排気の仕方・子宮高の測定・子宮底の輪状マッサージなど)は、その目的や方法を理解し、正しく行えるように自己学習を行って臨んでください。			
テキスト	助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ [2]分娩期・産褥期,我部山キヨ子他編,医学書院 今日の助産マタニティサイクルの助産診断,南江堂 根拠と事故防止から見た母性看護技術,石村由利子編,医学書院 病気が見える Vol.10 第4版,上田森生他編,MEDIC MEDIA			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本産婦人科学会他編・監:産婦人科診療ガイドライン産科編 2020,日本産婦人科学会事務局 日本助産師会他編・監:助産業務ガイドライン 2019,日本助産師会出版社 エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠・分娩期・産褥期 2020—,2020,日本助産学会 基礎助産学[3]母子の健康科学 第5版 我部山キヨ子他編,医学書院 必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	助産学実習へむけて必要な知識・技術を学びます。講義・演習では、主体的に参加し、演習時は身だしなみを整え、円滑に展開できるよう準備・後片付けも自主的に行ってください。 感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。			
達成度評価に関するコメント	評価は、試験、発表(技術演習)、提出物(事前課題など)により判断します。 上記の評価が不可の場合は試験にて再試験を行います。			